



## ミニ展示「ひなまつり」

七段飾り・御殿飾りなど、昔のおひなさまを展示します。

とき 1月31日㈯～3月8日㈰  
ところ 1階エントランスホール

### ●おひなさま風着付け体験

あなたもおひなさまになれるかも。(身長90～130cm程度)

★県内博物館を巡るひなまつりスタンプシールラリーに参加しています。



## 招きネコ版画を配布します

江戸時代の版木で刷った良い出会いを招く開運のネコ版画をお配りします。  
※1人1点限り

とき 2月22日㈰  
午後2時～4時

ところ 1階エントランスホール  
参加費 無料  
※申し込み不要



竹島水族館  
Aquarium  
☎ 68-2059

## 館長のひとりごと



小林龍二

エサ切りは「調餌」といつて「掃除」「給餌」「エサやり」と並んで語尾から「3じ」と言われ、飼育員の基本となっています。私はそんな3つより「展示」が大事だと早々に3じをサボっていましたが、それでも基本なので若い頃はしぶとくやらされたものです。ということで、エサ切りは懐かしく久しぶりの作業。20年以上やってき



20年以上もこの部屋で毎日毎日エサを切っていました。懐かしいです。

最近、志願して「エサ切り」をしています。1日のアシカ・オットセイたちのエサの準備で毎日、アジやサバ、ニシンなどの魚を20キロほどぶつ切りにする作業です。アシカ、カワウソ、カピバラ等を世話する哺乳類班の開館前の朝の作業が大変なので助っ人として参戦しているわけです。それまでは館内を見回ったりメールのチェックや雑務等をしていましたのですが、エサ切りとなると久々に長靴を履いて腕まくり。単純にうれしくなります。

た工サ準備の部屋「調餌室」に入り包丁でザクザクと魚を切っていきます。現場に関わり実際に自分で体を動かすのは楽しいもので、もつと切らせる、もつと魚をもつてこい、となるのですが、1日分の工サはもうすべて切ったと言われるので、次はアシカたちの掃除に移ります。掃除はメンドクサイ。残るは楽しい給餌ですが、これはアシカショーの時間に合わせて専属スタッフがやるのでもらえないので、ヒマになつたのでしょんぼり事務所に帰つてパソコンに向かうと、マウスを握つた右手に1枚のウロコがついていました。なんだかうれしくなりました。やはり現場が一番ですわ。